

別紙

福山リサイクル発電株式会社福山リサイクル発電所温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

福山リサイクル発電株式会社福山リサイクル発電所

(2) 事業所の所在地

広島県福山市箕沖町107番8

(3) 業種

ごみ処分業 8816

2 計画の期間

本計画の期間は平成18年度を基準年度とし、平成23（2011）年度～平成25年（2013）年度までの3年間とする。

3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：売電量（千kWh）当りのCO₂排出量（t）

温室効果ガスの種類	基準年度の実績 (a)	目標年度 上段：目標 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績 (d), 下段：削減量の対基準年度比 (e))				
			平成18年度	平成25年度	平成23年度	平成 年度	平成 年度
エネルギー 起源CO ₂	0.04528	0.04357 3.8	0.04330 4.4				
非エネルギー 起源CO ₂	0.63213	0.62794 0.7	0.61131 3.2				
メタン							
一酸化二窒素	0.04430	0.04307 2.8	0.04115 7.1				
フロン類							
温室効果ガス 総排出量	0.72171	0.71458 1.0	0.69617 3.5				
エネルギー消費 原単位（原油換 算kl）	0.05188	0.04836 6.8	0.04587 11.6				
実績に対する 自己評価		RDF貯蔵サイロの集積高さの規制緩和と設備トラブルの減少により、立上、立ち下げでのコークス・灯油の使用量が減少、発電に寄与するRDF量の増加、所内電力の削減対策により売電量が増加し原単位が改善した。今後も継続していきたい。					

※ 削減率 (c) = ((b) - (a)) / (a) × 100 削減量の対基準年度比 (e) = ((a) - (d)) / (a) × 100

4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	削減量等	具体的な取組み
1	立上げ時のコークス、灯油の低減	335 t・CO2/年	RDFサイロ集積高さの規制緩和に伴い休風回数を減らし、立上げ時に使用するコークス、灯油の低減を図る。
2	サイロ用窒素PSA装置の運転時間を減少	37 t・CO2/年	サイロの運用パターンを変更。これによりサイロ用窒素PSA装置の運転時間を減少。
3	酸素PSA中圧圧縮機を停止	4 t・CO2/年	酸素PSA中圧圧縮機を用い酸素掛け作業を実施しているが、これを酸素カードルに変更。
4	炉前制御室の床暖房及び乾燥室の設置	6 t・CO2/年	水砕水の温水を利用し、炉前制御室の床暖房及び乾燥室の設置（冬季）。

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1.	NOX削減	40⇒35ppm	オキシダント情報・警報発令時排出量を下げる